

令和元年度 第2回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令和元年12月5日
招集場所	日南町役場防災会議室
開 会	午前9時00分 教育長
出席委員	中村町長 伊田教育長 須田教育委員 中村教育委員 中島教育委員
欠席委員	長谷川教育委員
オブザーバー	丸山副町長、木下総務課長、村上教育次長、吉田日南小学校長、吹野日南中学校長、段塚保育園長、福田室長、三上室長

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
あいさつ	教育長 町長	<p>開会</p> <p>会議の進め方についてお願いがある。それぞれみなさんが一生懸命やっておられて、その場その場はわかるが、結局今トータルでどうなっているかがわかりにくい。明確化して推移がわかるようにしてほしい。ひとつの事業について、継続性の中身がわからない。この会議も2時間の会で、新しい分野の話もしていかななくてはいけないので、全体が見渡せない。一つの項目だけに集中して他の項目がどうなっているかわかりにくい。一定の項目を決めてどう動いているかを、固定的な事業の内容と新しく組みたい項目について、今どうなっているのか、それをふまえてどうしたいか、短い文書でいいので、資料を事前に作って頂くとありがたい。そして、この会を年3回開いて頂きたい。この会は情報の共有が目的なので、例えば保小中連携、学力向上、ICT教育、いじめなど大枠で項目を作って頂き、簡単な箇条書きでよいので資料をお願いしたい。共通事項と新規項目と大きく分けて頂くと誰もが情報が共有できる。日南町の子どもを育てていくためには、多くの人に関わっていかないと、学校現場や教育委員会だけでは大変だと思っているので、これからもこの会で意見交換ができるようにお願いします。</p>
協議	教育長	今日の協議の議題は、保小中一貫教育について小学校統合10年の連携がどうであったかという検証、

	<p>これからどう進めていくのか、小学校統合前と今の子ども達の様子、保育園と小学校の連携、小学校と中学校の連携の在り方について、その状況についても話題になるのではないかと。ICT活用については、日南町の子ども達は教育環境を充実させて頂いている。学力学習状況調査の結果によると、ICT活用についての数値が全国や県平均より非常に高い。外国人とのふれあいについても非常に高い数値が出ているので、日南町が力を入れていることは、きちんと子ども達に届いていると思う。現状で課題となっている保小中一貫教育の検証と、これから更にどう進めていくか、今、教育大綱と振興計画を連動させながら向こう5年間の方向付けをする節目になっている。</p>
教育委員	<p>保小中一貫教育の検証と今後に向けて、ということで3項目挙げているが、小学校の統合10年の前後ということで、今の状況について、資料も見て頂きながら御意見を頂きたい。</p> <p>教育振興基本計画、教育大綱について町長の考え方を確認したい。前回、5年前は、教育振興基本計画を以て大綱に代えた、となっているが、個人的には、振興計画を踏まえた上での大綱が必要ではないかと思う。首長の思いが反映されるのが大綱である。それによって、日南町の教育方針を明確に町民に知らしめるよいチャンスである。コミュニティースクールは地域を巻き込まないとできないこと。今がチャンスなので町長の思いをぶつけてほしい。</p>
町長	<p>令和の時代は情報化が進むこと、町にとって子ども達の関わりがどうなのか、人間としてどうなのか、の3つをイメージしながら人作りをする。校訓で生き抜く力、とあるが、そのとおりで、そのためにどうするかという話だと思う。これからの時代、社会も変わる、働き方も変わる、人口が減るのは事実。子ども一人一人が自分のやりたいことができるということが一番人生にとって豊かだと思う。そのへんを統合した形をイメージしている。それが言葉として入るなら大綱に入れていきたいので、時間を頂きたい。</p>
教育長	<p>大綱の素案も、町長が日頃仰っていることを思いながら、案を作っている。あまり長くなってもいけないので、1枚でコンパクトなものをサンプルとして提案している。</p>
町長	<p>大綱なので、教育委員の意見も聞いておきたい。10年先になると人口も随分減る。5年後、10年後の子ども達のイメージを聞かせて頂きたい。教育現場のみなさんの意見も頂きたい。どういう日南町の子どもを育てたいかという話だと思う。</p>
教育委員	<p>どういう子どもを育てるか明確にすることが教育方針。町民が読んでわかるものでないといけない。</p>

町長	小学校統合前との違いを理解していかないと、次の10年に向かえない。
教育委員	10年前は、広大な土地で8校が一つになって、それぞれの風土や気質がある中で子ども達が集まってきて、学校としては、どう学級集団や学校を作っていくのか、というのが基にあり、それが学級作りや学習の基盤にもなる。そのような中で、保小中連携と言いながらやってきて、本当に変わってきたと思うのは、挨拶の問題。今は、ほぼしない状況にある。人と豊かに繋がる力には情報教育もあるが、挨拶から人作りが始まるのではないかと思う。学力調査の結果をみれば、家庭学習の時間が少ないと言われる中で、小学校のアフタースクールや、中学校のロングパワーアップタイムなどの手だてが無いわけではないが、やはり同じように家庭学習が少ないと挙がってくる。
教育委員	検証したものを町民に返さないといけないし、町民自身が10年間の学校教育をどんなふうに見ておられるかということ抜きにしては、次に立ち上げようとしているコミュニティスクールの姿は描けない。今日も、保小中一貫教育の検証をと書いてあるが、検証しようと思っても、私のイメージで語ることは出来ない。子ども像として思うのは、自立という事と思いやりということ。子ども達の言葉が、一人一人によって違うが、荒んでいるという心がこもっていない。
町長	自立ということについてはどうですか。
教育委員	学習発表会のような改まった場所では、子どもたちは一人で堂々と言いきる。ところが、総合学習の発表会では、自分の言葉で自分の意見が言えない子が多い。自分の考えを持つ子でいてほしい。自分の言葉で自分を表現できる子どもであってほしい。
教育委員	自分の考えを人に言えるということは、社会人になって絶対に必要。日南町の特性は、山や田畑で、それを捉えた教育を小中学校でやってもらっているが、それは失ってはいけない教育活動である。私の思いは、本当の意味で自立した子どもを育てるということ。
町長	校長先生方、何か思いはありますか。
小学校長	日南小学校に来て、挨拶をなんとかしたいという思いがある。教員には挨拶が出来るが、地域の方の出来ないということとか、来られたお客さんに同じように挨拶できないという実態がある。まだまだ不十分で、取組みの成果が出ていない。
町長	子ども達は、朝、先生と会うと、挨拶ができるか。
小学校長	随分できていると思う。

中学校長	アンケートをとると、自分は挨拶をしていると答えるが、実態は声が小さかったりというようなことを含めて、伝わらないといけないということを指導しなければいけないと思う。中学生は3年後には卒業して、いろいろな所に進路で向かっていく。小規模校なので、一つの高校にたくさんの生徒が行くわけではないので、大きな集団に入って、うまく高校生活が送れるというような人間関係や仲間作りやたくましく生き抜く力を育てていかないといけないと感じている。
保育園長	保育園は保護者と登園するが、挨拶が出来る子もいれば、年齢的に出来ない子もいる中で、小さい子はタッチするなどいろいろな形で挨拶してくれたり、大きな子になると、職員室のドアを開けてみんなに挨拶してからクラスに行く子もいる。結構、挨拶はしてくれる。親と一緒についてきているので、親が声をかけたりすると毎日してくれるようになると思う。
教育長	子どもにとって、周りの大人をどう見ているか、というところが10年前の子ども達とは違うのではないかと思う。子どもがどう周りを見るかという根本が違ってきている。あいさつができない子どもが悪いのではなくて、そういう状況になっている私達大人の関わりを変えていく時期に来ている。
教育委員 小学校長	以前、知らない人と話すな、という指導があったが、今はどうか。
町長	トーンダウンしているが、危険察知という指導はしている。
教育委員 町長	ふるさと教育のアンケートの中で、保護者のアンケート結果が出ている。なぜだろうかと思うが、親は、子どものしつけをしてほしいという現状がある。
教育長	部活をしていて、監督やコーチには挨拶できるが、一般の人にできないのはなぜか。目上の人に対してどう思っているかということが、崩れているのではないか。
教育委員	子どもだけではなく、お互いにそれぞれの組織の中で、あいさつが行き交う町、というのは大きなコンセプトではないか。大綱という切り口の中で、自立や、人と人との関わりの中に、思いやりを大事にし、生き抜く力というのは、日南中学校が設立されてから、小学校が統合されてもずっと校訓となっている。これを大事に継承していくべきという話もあったし、家庭での教育や地域の関わりであったり、教育基本法に謳われている三者が責任を果たすということを、日南町の中でも明らかにしていくということが、今の話題の中に出ていると思う。
教育長	次の、保小連携についてはいかがですか。
教育委員	常時、こういうふうにしようという部分で繋がっていた方がよい。教育委員会の中に保育園の管轄があ

町長	<p>るところが功を奏しているか聞いてみないとわからないが、繋がりを持ちやすいと思う。</p> <p>そういう気持ちでいた。中身の共通した部分を作っていきたいという思いがあるが、何ができるかは、私自身、今まで明確に持てなかった。子どもの成長段階の中で、教育分野でも、以前と比べると、英語教育など物事が前倒しでスタートしている。それと、子どもの成長過程の中で、もう少し前倒ししてもいいのではないかというイメージがある。例えば、5歳児の段階でもう少し教育的な部分が加わってもいいのではないか。英語が入ってもいいのではないか。最終的に学力の向上につながり、外国の人とコミュニケーションがとれるとか、自然なかたちで吸収できる年齢層ではないかと思う。</p>
教育委員	<p>保育園の段階で、当然人間として基本的なことがおさえられた子どもだとすれば、小学校・中学校ではより高度なことができる。</p>
教育委員	<p>保育園と小学校の先生が、どんな子どもになってほしいと思っているかということが、同路線にのっているか聞きたい。保育園の子どもたちは、自分の好きなことに主体的に向かっていく。小学校に入ったら、集団生活の中に入って教室で学習が中心の生活になる。あれだけ遊んでいた子どもたちが日南小学校に行ったら、遊び場がない。狭い遊び場しかないことが、小学校の子どもたちに大きな影響を与えているのではないか。</p>
町長	<p>それも一つの課題かもしれない。それを和らげるためにはどうしたらいいか、勉強して頂けるとありがたい。個人的には、最終的に、保育園も教育委員会の中に配属したいと思っている。保育士にも、今年するとか、来年するとかいうことではなく、方向性は伝えている。上から、来年からすると言っても、現場の先生が理解していかないと、混乱をつくるだけになってしまう。</p>
教育委員	<p>保育園から小学校へ、カリキュラムの連携はしているか。</p>
町長	<p>うちは、組織的に内容を共有しやすい仕組みになっているので、変えていくこともできる。具体的な内容はみなさんで考えて頂きたい。</p>
教育委員	<p>保育園では、しっかり遊び込み、小学校に入ったら小学生になるという子どもなりの気持ちの切り替えもほしい。気持ちを切り替えながら成長していくことが大事。</p>
教育委員	<p>教育の段階で、保小中見たときに、保育園から小学校に、ここまで育てた子どもを送ってくださいというやり方も必要ではないか。中学校へも同じ。実際にはないのか。</p>
教育長	<p>日南小学校だけではなく、小学校6年生の育ちに、みなさんが非常に危惧を持っている。中学校卒業で</p>

小学校長	<p>は入試があるので、中3の姿はある程度見える。小学校6年生のあるべき姿、育ちについて校長先生方はどのように捉えておられますか。</p> <p>担任だけでなく、学校全体で子どもたちを育てていかななくてはならないが、その中の一つとして、平和学習で子どもたちがいろいろな取り組みをしているので、他のところも同じように押し上げていきたいので、そこを取っ掛かりにして、子どもたちのモチベーションを上げたり、力を伸ばしていかななくてはならない。</p>
中学校長	<p>学習面では、今年、小中連携で各教科の指導法について、小中の先生が集まって研修をした。学習の指導法などの細かい点についても、もっと早く会がもてていればよかったと感じた。中学校に入ってくる時に、1学年1学級ということがあって、少人数の中の間人間関係がうまくいかないまま入学してくるということがある。中学校に入って、少しずつ人間関係やコミュニケーションの取り方など指導していくが、そこがほぐれて入ってきてくれると、もっといいスタートがきれるという思いはある。</p>
事務局	<p>統合前は、1つの中学校に、8つの小学校又は6つの小学校から6年生を送り出すまでに、大人数の中でも自分らしい力を発揮できるような力をつけて卒業させたいという思いがあって、その為に集合学習をやったり、人前で発言できるような表現力の育成に力を入れていた。今や、その課題が小から中に持ち上がっているが、かつてと同じ悩みが起きている。日南町に限ったことではないが、子ども達の発達が早くなって、かつての中学生のような精神年齢が小学校高学年で、昔中学校が荒れていた状況が、小学校に下りてきている状況も全国的にある。そうなってくると、中学校での生徒指導的な手法を小学校が取り入れていかないと、昔ながらの教育手法ではやっていけないということが起こってきている。小。中で課題が今までと変わってきているということ認識して取り組みを強化していく必要がある。そして交流して、それぞれのノウハウを取り入れていく必要がある。</p>
教育長	<p>6年生がリーダーになる場面が少なくなってきている。一つの中学校に行くからということで、熱心な指導があり、応えてがんばってきた子どもたちや先生のモチベーションがあった。今や、小学校から中学校に同じようにスライドする中で、6年生の自覚をどう高めていくのか、小中の連携だと思いが、場の在り方を考えていかないと小学校は厳しいと感じた。</p>
町長	<p>実態が変わってきているということは認識しないといけない。それによってやっていかななくてはならないことが明確になっているということなので、連携の中で確認して新たな取り組みに繋げて頂くとあり</p>

	がたい。
教育長	ICT 活用についていかがでしょうか。
教育委員	タブレットが全員に供給できる体制がとれるのはいつか。今は、何人に 1 台か。
事務局	4 年生以上が一人一台です。
教育委員	文科省の目安は 4 年生以上か。
事務局	小 5 から中 3 に一人一台のパソコンを、ということです。
町長	日南町は ICT は進んでいる。
教育委員	上手に使っていかないと、コミュニケーションが図れないようなことではいけない。活用の仕方を考えていかないと弊害がリスクになって出てきてはいけません。
教育委員	活用が十分されているかどうかの検証は誰がするのか。事務局が入って調べるのか。
教育長	使ったか使っていないかのレベルまで。情報活用能力が育ったかどうかといことを教育委員会として検証しないとイケないということだと思ふ。教育委員会として明確化したい。
教育委員	ICT については、親も、セキュリティのことなど、こういったことだけは身に付けてほしいということがあると思ふが。
小学校長	情報モラルについてもセットで学習している。
中学校長	中学校では技術で情報モラル等学習している。スマホ等についても講師を招いて学習した。PTA でも研修をした。
教育委員	学習の内容について、親も共有していかなくてはいけない。
教育長	新しいものがどんどん教科の中にも入ってくるし、教職員がどのようにできる環境をつくっていくか、現場が困っておられる部分もあると思ふがどうですか。
中学校長	ふるさと祭りで、各学年、演劇とプレゼンをしている。教職員が 2 年前から、プレゼンの講師を依頼し、子どもが作ったプレゼンの資料を使って、細かい研修を受けている。
小学校長	小学校は、2 月に成果発表会を予定しているので、ふるさと学習の成果を発表したい。中学校のようなプレゼンの手法も学びながらやっていきたい。
町長	良い情報をありがとうございます。
教育委員	ふるさと教育の公設塾はどういう考えか。

町長 教育長 副町長	ひとつは学力向上、もう一つは地域とのつながりです。 副町長、総務課長、一言づつお願いします。
	最後にふるさと教育のことを話されたが、こういう話がこの会であった方がよい。決して昔の子ども達はずっとあいさつができていたのではないと思う。あいさつ橋を作ったり、あいさつの表示を作ったりして、社会教育が努力したところもあったと思うので、社会教育でもやって頂きたい。日南の保育は最高の地点にあったということで、変えていかななくてはいけないのではという意見もあるので、話ができたらと思う。ICTについては、今日、予算立てについて話が出てくればよかった。ICT教育を一生懸命やっておられるが、外にはわかりにくいところがあったと思う。県の指導がついていっていないところもあり、町独自でなかなかできなかつたということも反省している。予算要求のあたりで、新任教育ということもあると思うので、教育委員会で教えてほしい。
総務課長	一つ一つ目的と目標を決めて、一つづつ成果を出していける会になればいいと思った。あいさつについては大人も同じ。学校教育と社会教育の両面であいさつができる町にしていくべき。目標を持って取り組んでいきたい。ICTについては、これから予算もでてくるが、どう使って行って、どう成果を出していくか確認してほしい。それが見えてこないと、また更新が来た、ということだけでは査定官もつまらない。夢が見れるような道筋を立てて行ってほしい。
町長 教育長	今回は、2月中・下旬でお願いしたい。 今回は、大綱と振興計画の議論を行いたい。2月に第3回を開催する。 以上で令和元年度第2回総合教育会議を閉じます。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員